

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 435 (通算 767 回)

2022年5月20日(金)

脱“学部学科”、“教教分離”の展開 —

学群・学系制の多様な教学運営と実際

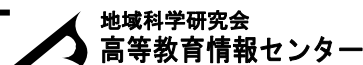
～ コンセプト/教員と学生(教育)の組織分離/メリットとデメリット ～

- ※ 学士課程の再構築と学位プログラム/教育組織改革の先行事例/国立大の実践/学生・教員は
- ※ [尚絅学院大] 1学部6学科から3学群5学類へ/導入の背景/具体の仕組み/横断的学びへ
- ※ [桜美林大] 学群制へ完全移行15年/現在の取組みと将来構想/グローバル&デジタル化対応

● 講師陣 ●

小方 直幸 氏 / (国) 香川大学 教育学部 教授
 黄 梅英 氏 / 尚絅学院大学 副学長
 畑山 浩昭 氏 / 桜美林大学 学長

2022年5月20日(金) オンライン開催



日時: 2022年5月20日(金) 13:00 ~ 16:50

会場: ウェブ会議システム

「Zoom (ズーム)」による

オンライン開催

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

- 参加費: A. ご一名(資料代込) 35,000 円(税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 38,000 円(送料、税込)
 C. 高等教育同人(☆) 20,000 円(税込)

- ※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom (ズーム)」を使用予定です。
- ※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。
- ※ 当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、別途 CD 代をご案内いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は個人加入の組織です。詳細はKKJのHPでご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込で承ります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10
ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03 (3234) 1231 Fax : 03 (3234) 4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

(※参加申込みの折は、必ず FAX か E-mail にてお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 435

(該当する□に✓印を)

年 月 日

学群・学系制の多様な教学運営と実際

□ オンライン当日参加 □ メディア参加

勤務先 _____

必要書類 □ 請求書 □ 見積書 □ 領収書

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 ～ 14:10	<p>□ 学士課程教育の再構築と学位プログラム化 ～ 高等教育政策の文脈と大学・学部レベルの取組 ～ (国) 香川大学 小方 直幸</p> <p>1. 高等教育政策の文脈 (1) 教育改革の潮流 (2) ガバナンス改革の潮流 (3) 2つの改革の合流</p> <p>2. 教育組織改革の先行事例 (1) メリットとして語られていること (2) デメリットや課題として認識されていること (3) 先行事例に見る改革の現状と到達点</p> <p>3. 国立大学の実践事例 (1) 教育組織と教育課程の編成をめぐる実情 (2) 学生・教員から見た教育改革 (3) 学位プログラムの行方</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:20 ～ 15:30	<p>□ [尚綱学院大] 1学部6学科から3学群5学類への改編 ～ “多様な学び” を実現する新しいカタチへ/その成果は ～ 尚綱学院大学 黄 梅英</p> <p>1. 学群・学系制の導入の背景 (1) 多様な学生に対応するニーズ (2) 現代社会における複雑な社会的課題 (3) 教育資源を有効的に活用する必要性</p> <p>2. 多様な学びを実現するための仕組み (1) 3学群5学類・1学系8部門 (2) 現場での実践的学びの推進 (3) アドバイザー制の導入 — 最適な学びにアドバイス (4) 横断的な学びを支えるサポート体制・環境づくり</p> <p>3. 横断的学びの具体例 (1) 人文社会学類における幅広い学び (2) 心理・教育学群における3学類の連携による相乗効果 (3) 3年次における学群横断科目の開講 (4) 専攻を越えた学生同士の学び合い・助け合い</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:40 ～ 16:50	<p>□ [桜美林大] 「グローバル」と「デジタル」の時代における教育研究の仕組み ～ 学群制の更なる改善により教学運営をアップデートする ～ 桜美林大学 畑山 浩昭</p> <p>1. 桜美林大学の学群制の振り返り (1) 設置基準の大綱化と学修区分制の導入 (2) 学群制への移行による主体的な学びの強化 (3) 学群と学系の機能 (4) リベラルアーツ系とプロフェッショナルアーツ系の学群構成</p> <p>2. 現在の取り組みと将来構想 (1) 大学の特色や強みの把握：学生の意識調査から (2) Unique & Sharp による新たな理念と中期計画 (3) キャンパスの拠点化と独自性の高い学群の展開 (4) 学群・学系の新たな体制作り</p> <p>3. グローバル化とデジタル化における教学運営 (1) 国際交流からグローバルスタンダードへの意識改革 (2) リアルキャンパスとサイバーキャンパス (3) 主な環境変化への対応 (4) これからの教学運営の可能性</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>